

今年と来年は何が違うか？

生まれたときの太陽の星座を1番目とすると、来年の木星の星座は、7番目に位置することになりますから、ここから、来年度の1年間にわたって木星があなたに与える影響を推測することができます。占星学では、7番目のキーワードは、「協力関係」です。

つまり、今までと違って来年のあなたは結婚というものを本気になって考えるようになり相手が人生上のパートナーとして相応しいかどうかを選別しはじめるようになります。社会生活においても、現在の職場や仕事が本当に一生を託すのに相応しいものなのか考えることが多くなります。今までピンと感じる出会いの乏しかったあなたにも、相応しいパートナーや親友が出現してくる可能性が強くごく自然に交際がはじまり、縁が深められるはずです。

来年、結婚のチャンスははたしてやってくるか？

占星学では、結婚生活を意味するのは、生まれたときの月の星座です。来年の幸運は、来年の木星の位置が示しています。あなたの場合は、生まれたときの月の星座と、来年の木星の星座が1つの星座分空いて離れています。キーワードは、「周囲に人達との人間関係」です。

つまり、来年のうちに結婚するチャンスは十分ありますが、対人関係がスムーズであることが条件です。特に身内・親戚や同僚・仲間たちとの関係が重要です。これらの人たちとの交流が活発なら、結婚へのスタートは切られています。新しい出会いは友情から入っていく形であり、すでに相手がいる場合は、仲間たちから強引にすすめられて結婚を決断しそうです。お見合いや縁談は、親戚からもたらされた話であればまとまりそうです。

結婚のチャンスがやってきたら、どのように対応すると良いか？

来年のうちに結婚のチャンスがやってきた場合、これまで以上に、相手とのコミュニケーションを大切にし、たとえ、直接会えないときでも電話やメールを最大限に活用すべきです。なかなか上手く気持ちを伝えられないときも、メールを用いれば理解してもらえます。本を読んだり、インターネットを使うのではなく、仲間や先輩たちから、結婚に対しての予備知識を直接仕入れておきましょう。人と接することで得られる情報のほうが、この時期は確かだからです。普段よりも交際範囲を広げて、周りの人たちとのかかわりを嫌がらない社交性が、結婚の幸運を呼び込むコツとなります。